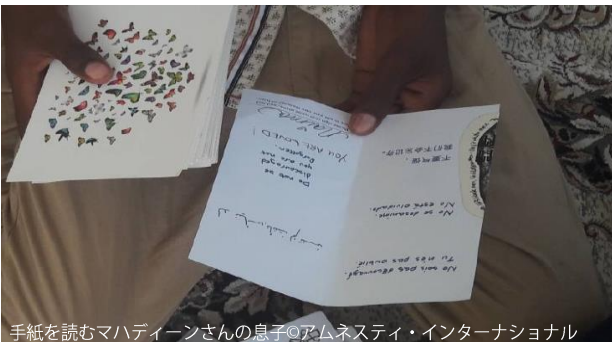


## チャドのマハディーンさんからメッセージ！

この9月、アムネスティは中央アフリカのチャド共和国を訪れ、良心の囚人であるネット活動家のマハディーンさんの家族と面会しました。そして、世界中のアムネスティの会員や支援者から寄せられた100通を超える励ましの手紙をお渡ししました。

ご家族から手紙を書いしてくれた人たちに向けて、次のメッセージをいただきました。「夫の釈放のために活動して下さっているすべての方々に感謝します。決してたやすいことではないと思いますが、これからもぜひとも、支援活動を続けてください。そして、皆さんのご支援で夫が1日も早く釈放されることを願っています」。



手紙を読むマハディーンさんの息子 ©アムネスティ・インターナショナル

マハディーンさんのいここからは、マハディーンさんの人となり語るメッセージです。「彼は私と同じ屋根の下で育ちました。彼は小さいころから政治に関心を持っていました。とてもざっくばらんで、家族を大切にすることもありました。逮捕の直前まで、彼は私の家族を気にかけてよく電話をくれ、いろいろな話をしたり、情報を交換したりしました。今はそれができないので、とても寂しいです」。

この訪問にあわせて、獄中にいるマハディーンさんからも感謝のメッセージが届きました。「アフリカの人権の保護と尊重のために活動している皆さんに心から感謝を申し上げます。アフリカ大陸は皆さんのような活動家を必要としています。政府の不正を批判する活動を行っている皆さんに手紙を書いてもらい、サポートを頂いていることは、私にとってとても名誉なことですし、この上ない支えとなっています」。

## 沖縄でアジア太平洋会議を開催

9月7日、沖縄・那覇に、アムネスティのアジア太平洋の支部が結集し、支部間の連携強化を協議する「アジア太平洋緊急対応ネットワーク会議」を開催しました。

今回の会議には、沖縄の米軍基地建設に抗議して長期間拘束されていた山城博治さんをお招きし、アジア各支部のキャンペナーらとご自身の体験を共有していただきました。山城さんは昨年11月に抗議中に逮捕されて以来、勾留期間が切れると再逮捕と再勾留を繰り返され、結局5カ月間、家族にも会えない接見禁止下に置かれていました。そして3月18日、ようやく保釈されたのです。

台湾支部から参加したヤーチー・ヤン職員は、その時の高揚感を次のように語っています。「生々しい体験を語る人の話を直接お聞きするほど、心を揺さぶるものではありません。誰かのために行動したいという衝動に駆られます。山城さんのような活動家とあって、とりわけその意を強くしました。この2月に沖縄を旅行したのですが、その時ちょうど、山城さんのUAが始まったところでした。もちろん私も手紙を書きました。山城さんの闘いは、沖縄の人たちだけでなく、アジア各地で非暴力で人権を求める人たちの、大きな励みとなっています」。



最前列左から2番目が山城博治さん

## ミャンマーが「良心の囚人」らを多数釈放！

ミャンマー国軍は9月1日、拘束しているジャーナリストや人権活動家らの起訴を取り下げると発表しました。この中には、UA で取り上げた人たちも入っていました。

まず、ニュースサイト「ザ・ヴォイス」の編集長チョーミンスエさんと、同紙に寄稿するチョーゾワーナインさんです。チョーゾワーナインさんは、5月に軍のプロパガンダ映画を批判する記事を執筆し、チョーミンスエさんがその記事を「ザ・ヴォイス」に掲載しました。その後2人は、「国家の侮辱」あるいは「ネットでの誹謗中傷」を企てたとして逮捕・起訴されました。

人権団体ザ・ムーブメント・フォア・デモクラシー・カレント・フォースのリーダー、コーティンチョーさんも、今回の恩赦で釈放された一人です。彼は昨年10月、国の司法制度を批判したことが「暴動の扇動」に当たるとして、逮捕・起訴されました。

最後に、ラウィウエインさん（イラワディ誌の記者）、エーナイさん（ビルマ民主の声）、ピューボウンアウさん（学者）の3人です。3人はこの6月、国際麻薬乱用・不正取引防止デーの薬物焼却の現場を取材するために、ミャン少数民族らが住む地域を訪れました。その時に少数民族の武装集団とたまたま接触する機会があり、これが「違法な接触」だとして逮捕されたのです。当然ながら、3人はあくまで取材行為をしていただけでした。これもあってはならない収監であり、起訴そのものも不当としかいいようがありませんでした。

いずれの人たちも、自身の意見や考えを文字や映像で社会に届けた、あるいは届けようとしただけであり、中傷や暴力ともまったく無縁な行動でした。そのため、そもそも逮捕や起訴の対象になりえないものでした。二度とこのような不当な拘束や収監がないよう、これからも当局に訴え、常に監視していく必要があります。

ミャンマーには、拘束されている良心の囚人がまだいま

す。その人たちが全員釈放されるまで、キャンペーンを続けていきます。UAで支援を呼びかけることもありますので、引き続き、皆様のご支援をお願いします。

## 亡き劉曉波さんを追悼した活動家が釈放へ！

この7月に末期がんで亡くなった劉曉波(Liu Xiaobo)さんの記念碑竣工のセレモニーに参加したために拘束されていた人権活動家6人が、8月中旬に釈放されました。彼らは、いまだに外国への移動制限などが科せられていますが、ほぼ通常の生活に戻ることができました。

釈放されたのは、次の6人です。汪美劇(Wang Meiju)さん、何霖(He Lin)さん、劉廣曉(Liu Guangxiao)さん、李舒佳(Li Shujia)さん、秦明新(Qin Mingxin)さん、衛小兵(Wei Xiaobing)さん。セレモニーでは、6人は亡き劉曉波さんに哀悼の意を表し、花を手向けて、「劉曉波さん、安らかに眠ってください」と呼びかけました。また、残された妻の劉霞(Liu Xia)さんをこれからも変わらず支援していくことを確認しました。その時に撮影された動画や写真が、その後、SNS に投稿・拡散され、多くの人びとの涙を誘い、劉霞さんへの思いを共有したといいます。

これらの行為が神経質な当局を刺激したようで、7月19日に6人は拘束されましたが、皆さんの呼びかけが奏功し、8月半ばの釈放となりました。

ご協力・ご支援ありがとうございました。

### UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778  
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本